

テーマ：『 川と大気と森林を守る環境学習』

水巻町立 杵小学校

Tel. 093-201-5465 担 当 家 永 篤 史
者：



■実践内容：

杵小学校では、子どもたちが自然事象に対して没頭して活動することができるように、生活科、理科教育を中心として研究を進めてきた。主な実践内容としては7月22日の日食による宇宙の神秘を全児童が自ら実感できるように、遮光版を配布し、校外運動場で観測会を行った。保護者や地域の方々にも呼びかけ、みんなで現象を共有できるようにした。また、高学年では、総合学習の時間として遠賀川の環境を調査し、自然を守っている地域の方々の取り組みを学ぶことから、自然環境の保全という視点で、自分たちでできることを考え、活動してきた。実践した主な内容は、遠賀川の上、中、下流の水質の違いや校内の池の水、水道水との水質の違いなどを調査キットを使って調べた。

■実践成果：

- 日食観測会を保護者や地域の方々にも呼びかけ行い、日食に関する情報を話すことで、宇宙の神秘を実感し、共有することができた。特に、手作りの観測キットを作ってきた家庭やお玉など家庭用品を持ってきて形を調べる家庭など、遮光版だけでなく、いろいろな観測の工夫をしていた。毎年行われている、杵自由研究コンクールでは、中、高学年の子どもたちが日食について、太陽、月、地球の関係やおこる現象などをくわしく調べ、まとめていた。
- 総合学習の時間で川などの水質調査をすることで、目にはみえないが水はかなり汚れているということが分かり、自分たちで何かできることはないかということで学年で話し合い、身近なところからということで、「学校の観察池をもっとたくさんの生き物が住めるきれいな池に」というテーマをもとにインターネットや図鑑で調べ、池のモデルを作成し提案した。

■実践ポイント：

- 子どもたちが自然の素晴らしさに触れるためのきっかけとして、実験用具や科学キットを使うことで、自主的に自然環境を守ろうとする意欲を持つことができる。
- 子どもたちが自然に対する興味、関心を向上することで、進んで実験観察を行うことができ、杵自由研究コンクールなどに意欲的に研究したことを提出することができる。